



第8回「ロータリーの友」地区だより（2月号）

寒い冬が続いていますが、もう早や2月となりました。梅のつぼみもほころび春が近づくこの時期ですが、各クラブで活発に活動されている事と存じます。

さて、2月は「世界理解月間」です。それに因んだ特集が企画されていますので御一読下さい。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- ORI 会長メッセージ** 1 頁
ロータリーとは何でしょう？に答える時、クラブ・地区そして国際的に活動することによって私たちは友情・信頼・誠実・希望といったより良い社会の純然たる基礎を築こうと努力している事を強調しなければなりません。ポール・ハリスの「国家間の好意を促進する組織としてのロータリー」というビジョンを理解して、すべての奉仕活動においても親睦・理解・平和という大きな目標に手を伸ばすことも心に留めておかなければいけませんと説いておられます。
- 特集、世界理解月間 ロータリー世界平和フェロー** 5～12 頁
ロータリー平和フェローの経験を生かして 寺西 悦子 6～8 頁
「ロータリー平和フェロー」というまだまだ知られていないロータリー財団が創設した制度を説明してあります。若い時から積極的に平和・紛争解決学を学び、世界中から集まった仲間と世界平和のために貢献するネットワークづくりをした経験、国連ボランティアとしてのインドネシア・アチェに派遣された経験、さらに 2009 年6月にイギリス・バーミンガムでのロータリー世界平和シンポジウムの様子等を述べ、「私は生涯を通して世界平和に貢献する仕事に従事していく覚悟をしています。」と決意しています。日本人女性のたくましさを感じました。
- ルワンダでインターン 永谷 裕香** 9～11 頁
大量虐殺で3ヵ月に 80 万～100 万人が亡くなったルワンダでNURCというルワンダ国民の和解を目的に設立された政府機関で働く永谷さんのレポートです。軍服姿で軍隊に入っただけの訓練や団結キャンプの様子が綴られています。紛争後の平和構築がいかに難しいか、ひしひしと感じたとしています。永谷さんもルワンダでのインターン修了後は国際NGOや国際機関で働きたいと考えているそうです。
- 2009. 10. 10 その日ロータリーでは** 13～18 頁
昨年 2009 年 10 月 10 日に世界で行なわれたロータリー活動の写真を取り上げています。世界のロータリアンの様子がよくわかります。
私も 10 月 10 日開催されたロータリー合同写真展（於マリーナシティ）の写真を送りましたが、残念ながら取り上げてもらえませんでした。
- 世界に羽ばたけ 米山学友⑫**
プロ野球にかける日韓の懸け橋 24～25 頁
米山学友で野球の韓国代表チームの公式通訳の李さんがプロ野球の通訳としても活躍しているレポートです。「米山記念奨学金」は、お金よりもロータリアンの存在こそが「目に見えないプレミアム」です。李さんはロータリーからいろいろの事を得て、仕事の上でも日韓両国の関係においてもよい環境を残したいと決意されています。

☆ 縦組

○近代史に見る韓日関係と奉仕の理想

第3720地区(韓国)1992-93年度ガバナー 姜 順鉉 2~6頁

2009年10月25日R I 2530地区 地区大会での記念講演の要旨です。1910年、日本が韓国を併合して以来1945年終戦、無条件降伏に至るまで36年間被圧迫民族として苦痛と苦難の歴史の重みを感じます。

それでも「一衣帯水の両岸にある友愛国として共存共栄の歴史をつづっていかねければなりません。」と今後日韓関係が前向きに仲良く展開して行く事を希望されています。

そして共に「Be a friend 友達になろう」というロータリー精神で奉仕を実現し、社会と恵まれない人たちのために自分の心と体と物質を施すと共に、善意と思いやりの心がプラスされた奉仕の理想を説いておられます。

○手に手 くらぶ探訪

地域とともに歩む 光ロータリークラブ 7~11頁

山口県光市にある光ロータリークラブを訪ねていますが、クラブのみなさん仲が良い秘訣は同好会活動、とくに野球部にあるかも知れないとレポートしています。

その他「地域に密着した活動」として「子ども110番」「水保全事業」教職員や中学生の職場体験事業さらに市内の小中学校と協力しての海外支援事業、民話・伝説収集事業等いろいろ紹介しています。

○卓話の泉 12~14頁

LED照明について 榎丸子信州電気 代表取締役社長 田村 吉宏 12頁

今話題のLED照明について上田東RC例会での卓話です。省エネ機器として将来の照明の光源としてのLEDの話、興味深く読ませて頂きました。

○俳壇 14・15頁

「早朝の人通りなく落葉掃く」 和歌山 島村 安彦

「多聞天若き雄姿や秋惜しむ」 大阪・堺 堤 淳

○柳壇 14・15頁

「自分史を纏め気俣な暮らし振り」 和歌山・新宮 塩崎 公治

「貫禄は年と自覚の後に来る」 大阪金剛 井出 俊太郎

「この料理お前に限るとおだてられ」 大阪金剛 井出 敏

「なんとなく時間止めたい紅葉狩り」 大阪・堺 松谷 湖塔

○言いたい、聞きたい 16~17頁

日本のエイズ問題を考えましょう 羽衣 岩田 博生

日本は先進国で唯一エイズ患者が増え続けている事、大阪が全国で二番目に感染者が多い事は驚きです。感染拡大防止はこれからのロータリーの課題でもあります。

○友愛の広場 18~19頁

師走の浪速に響いた一万人の第九 堺・清陵 前原 聡 18頁

さる12月6日大阪城ホールで盛大に開かれた一万人の第九公演。一万人が一堂に会しての合唱は壮観です。ここに至るまで御苦労も大変だったと思います。

○ロータリー・アット・ワーク

本2月号はめずらしく写真編・文章編とも2640地区からの掲載はありませんでした。今後共、御投稿の程よろしくお願い申し上げます。

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮(田辺RC)

E-mail : hiromoto1026@ybb.ne.jp

TEL : 0739-22-0571 FAX : 0739-26-7307